

平成 21 年 11 月 6 日

各 位

会 社 名 テクノクオーツ株式会社
 代 表 者 代表取締役社長 千葉 喜 夫
 (JASDAQ コード番号 5217)
 専務取締役
 問 い 合 せ 先 管理本部長 岡本 克 己
 (TEL03-5354-8171)
 当社の親会社 ジーエルサイエンス株式会社
 代 表 者 取締役社長 森 憲 司
 (東証第2部 コード番号 7705)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 5 月 12 日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	2,400	△226	△260	△318	△41 円 19 銭
今回修正予想(B)	3,428	△136	△136	△160	△20 円 71 銭
増減額(B-A)	1,028	89	124	158	
増減率(%)	42.9	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成 21 年 3 月期)	3,595	△264	△356	△783	△100 円 94 銭

2. 平成 22 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	2,400	△135	△163	△221	△28 円 66 銭
今回修正予想(B)	3,426	△49	△48	△71	△9 円 27 銭
増減額(B-A)	1,026	86	115	150	
増減率(%)	42.8	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成 21 年 3 月期)	3,583	△355	△401	△828	△106 円 70 銭

3. 修正の理由(連結・個別)

半導体業界におきましては、メモリー需要が回復傾向にあり、半導体製造装置内で使われる当社の石英・シリコン製品への受注は堅調に推移しております。この足元の受注状況は年内までは継続すると思われることと、現状の受注残を考慮しますと売上高は前回発表の業績予想を上回る見通しとなりました。損益面では、売上高の増加により営業損益は下半期では黒字化を予想しており、通期赤字幅が縮小する見込みです。しかし、想定を上回る受注急回復に対して、生産体制の再整備に係る費用や外注費用の増加など、コストアップ要因もあり損益の予想数値は上記程度に留まる見込みであります。

(注)上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基き作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。